

# 周産期医療に関する実態調査について

参考資料2

調査名 東京都周産期母子医療センター等における長期入院児調査

調査時点 平成19年3月1日現在（OneDay調査）  
 調査対象 調査時点で、申請時期から引き続き90日以上入院継続している児  
 回答施設 22病院

		全体	重度心身障害児		退院予定		入院期間		
			該当	非該当	あり	なし	12ヶ月未満	12ヶ月以上	
件数		123	57	66	41	82	79	44	
胎児の属性等	出生体重	平均出生体重(g)	1741.2	2215.0	1353.4	1278.3	1972.6	1415.6	2345.7
	性別	男	58	25	33	20	38	36	22
		女	63	31	32	20	43	42	21
	在胎週数	平均在胎週数(週)	32.2	35.1	30.0	29.0	33.9	30.3	35.9
	胎数	1単胎	110	51	59	33	77	69	41
		2双胎	9	5	4	5	4	6	3
		3品胎	3	1	2	2	1	3	0
		4四胎以上	0	0	0	0	0	0	0
		5不明	1	0	1	1	0	1	0
	出生場所	1院内	86	36	50	33	53	60	26
2院外		34	19	15	8	26	18	16	
3不明		0	0	0	0	0	0	0	
入院病棟	入院時	1NICU	111	50	61	39	72	75	36
		2GCU	10	5	5	2	8	4	6
	調査日現在	1NICU	23	12	11	1	22	18	5
		2GCU	75	31	44	38	37	54	21
		3小児病棟	23	13	10	1	22	6	17
		4その他	0	0	0	0	0	0	0
		5不明	2	1	1	1	1	1	1
	病名	1低出生体重	69	20	49	33	36	57	12
		2染色体異常	12	8	4	2	10	8	4
		3先天性外表奇形	14	9	5	1	13	6	8
4その他の先天奇形		17	8	9	4	13	9	8	
5仮死後低酸素性虚血性脳症		26	25	1	1	25	8	18	
6呼吸器疾患		43	11	32	14	29	28	15	
7中枢神経系疾患		27	19	8	5	22	14	13	
8循環器疾患		25	11	14	7	18	16	9	
9消化器疾患		24	8	16	5	19	17	7	
10その他		20	10	10	8	12	15	5	
スコア	超重症児判定スコア(平均)		17.7	24.7	11.4	4.8	24.1	12.3	27.4
	25点以上		50	37	13	2	48	16	34
	10点以上25点未満		29	11	18	4	25	22	7
障害	身体	1寝たきりで寝返りが打てない	65	57	8	8	57	30	35
		2寝たきりだが寝返りは打てる	7	0	7	2	5	3	4
		3座位がとれる	3	0	3	0	3	0	3
		4その他	4	1	3	1	3	4	0
		5障害なし	29	0	29	23	6	27	2
		6不明	16	0	16	6	10	16	0
	知的	1最重度	45	45	0	3	42	15	30
		2重度	13	12	1	3	10	8	5
		3中度	10	1	9	3	7	6	4
		4軽度	6	0	6	2	4	2	4
		5障害なし	30	0	30	23	7	29	1
		6不明	20	1	19	8	12	20	0
重症心身障害児		57	57	0	6	51	23	34	
自宅退院に向けて行政に望む支援等	1保護者に対する在宅医療の指導	63	37	26	14	49	36	27	
	2保護者に対する障害受容に向けたカウンセリング	47	37	10	6	41	20	27	
	3医療機器の手配(斡旋・貸与等)	51	32	19	4	47	25	26	
	4保護者に対する退院後の精神的なサポート体制	64	37	27	15	49	38	26	
	5短期入所施設が必要に応じて利用できる状況にある	55	36	19	9	46	28	27	
	6児の療育が可能な通所施設が近隣にある	56	37	19	14	42	34	22	
	7訪問看護	74	39	35	25	49	45	29	
	8特になし	7	0	7	5	2	7	0	
	9入所・入院者と在宅者の不公平感の是正	5	5	0	1	4	4	1	
	10その他	11	8	3	0	11	4	7	
			重度心身障害児		退院予定		入院期間		

		全体	該当	非該当	あり	なし	12ヶ月未満	12ヶ月以上	
医療ニーズ	1レスピレーター管理	51	37	14	2	49	17	34	
	2気管内挿管・気管切開	56	39	17	4	52	22	34	
	3鼻咽頭エアウェイ	0	0	0	0	0	0	0	
	4 O2吸入又はSaO290%以下の状態が10%以上	32	18	14	6	26	14	18	
	5 O2吸入又はSaO290%以下の状態が10%以上（インスピロンによる場合）	2	0	2	0	2	1	1	
	6一時間1回以上の頻回の吸引	16	9	7	1	15	10	6	
	7一日6回以上の頻回の吸引	54	40	14	5	49	20	34	
	8ネブライザー常時使用（インスピロンの場合を含む）	2	2	0	0	2	1	1	
	9ネブライザー一日3回以上使用	6	4	2	0	6	3	3	
	10IVH	8	1	7	1	7	5	3	
	11経管、経口全介助（胃、十二指腸チューブ等含む）	84	49	35	10	74	43	41	
	12姿勢制御・手術などにも関わらず、内服薬で制御できないコーヒー様の嘔吐に伴う処置	6	6	0	0	6	4	2	
	13血液透析	1	1	0	0	1	1	0	
	14定期導尿（一日3回以上）	2	2	0	0	2	0	2	
	15人工肛門	7	2	5	2	5	5	2	
	16一日6回以上の体位交換（全介助）	42	31	11	7	35	21	21	
	17過緊張により週3回の臨時薬を要する	7	7	0	0	7	4	3	
	18イレウス	2	0	2	0	2	1	1	
	19高度視力障害	12	11	1	2	10	7	5	
	20高度聴力障害	11	9	2	0	11	2	9	
	21その他	11	3	8	4	7	9	2	
退院・転院する予定	退院・転院する予定	41	6	35	41	0	40	1	
	入院期間	A 治療が必要だった期間 入院後 ヶ月間程度	4.3	5.0	4.1	4.3		4.2	6.0
		B 医療的に医療水準が必要でなかった期間 現在まで ヶ月間程度	1.5	6.0	0.7	1.5		0.9	27.0
		A+B 合計	5.8	11.0	4.7	5.8		5.1	33.0
	退院先	1自宅	38	4	34	38		37	1
		2療育施設	0	0	0	0		0	0
		3その他	2	2	0	2		2	0
	入院が長期化した理由又は自宅退院できない理由	1医療ニーズや介護度が高いため在宅は困難	19	6	13	19		18	1
		2医療ニーズや介護度が高いため家族が在宅を拒否	2	1	1	2		2	0
		3家族の障害受容ができない	1	0	1	1		1	0
4自宅の構造上受入れが困難であり、改修も難しい		0	0	0	0		0	0	
5他に看護・介護・養育を必要とする家族がいる		1	1	0	1		1	0	
6ひとり親家庭、親が疾患など、家庭養育が困難		0	0	0	0		0	0	
7経済的に、現在の生活水準を維持したいため		0	0	0	0		0	0	
8他の児に割くエネルギーを減らしたくないため		3	2	1	3		3	0	
9その他		8	0	8	8		8	0	
退院・転院の見通しが立っていない	退院・転院の見通しが立っていない	82	51	31	0	82	39	43	
	現在の状況	1原疾患の治療に向けた積極的な加療又は容態が安定せず、引き続き貴院での入院管理を要する	31	12	19		31	23	8
		2状態が安定し、家庭での受入が可能、又は受入可能な施設があれば、退院・転院が可能と思われる	49	37	12		49	15	34
	入院期間	A 治療が必要だった期間 入院後 ヶ月間程度	12.5	11.7	14.0		12.5	5.6	17.1
		B 医療的に医療水準が必要でなかった期間 現在まで ヶ月間程度	15.8	20.4	4.4		15.8	1.3	25.3
		A+B 合計	27.0	31.7	17.5		27.0	6.8	40.6
	今後の方針	1在宅に向けて家族への働きかけを継続する	27	15	12		27	19	8
		2受入施設を探す	35	31	4		35	6	29
	入院が長期化した理由又は自宅退院できない理由	1医療ニーズや介護度が高いため在宅看護が困難	50	33	17		50	20	30
		2医療ニーズや介護度が高いため家族が不安に思っている	33	23	10		33	10	23
		3家庭内に本患者以外に看護や介護、養育を要する家族等がいる	3	3	0		3	0	3
		4家族が養育放棄	7	4	3		7	0	7
		5ひとり親家庭、親が疾患など、家庭養育が困難	6	5	1		6	1	5
6自宅の構造上、児の受け入れが困難		5	4	1		5	0	5	
7経済的に、現在の生活水準を維持したいため		6	6	0		6	0	6	
8他の児に割くエネルギーを減らしたくないため		8	6	2		8	1	7	
9その他		7	5	2		7	4	3	